

埼玉県立総合教育センター
地域とともに歩む学校づくりセミナー

今なぜ 「地域」「探究」が 必要なのか

令和2年11月27日(金)
大正大学 地域創生学部
教授 浦崎 太郎

4 目の新しい世界を
みんなに

9 産業と地域教育
連携をつなぐ

17 持続可能な社会
目標を達成しよう

大正大学
DAISEI UNIVERSITY

1

自己紹介

- 浦崎 太郎（大正大学 地域創生学部 教授）
- 前職は岐阜県の高校教員（1989.4～2017.3）
「高校と地域の協働による人づくりと地域づくりの一体的な展開」を指向
- 中央教育審議会 学校地域協働部会 専門委員（2015）
- 大正大学 教授（2017.4～）
- 「自分らしく社会に参加できる若者」を育む高校への改革支援を通じた地域創生を志向し、高校と地域の協働に関する政策提言から現場への実務支援までワンストップで対応。

2

今後、心がけて進めたいこと

互いに**越境**しあい
共学共創のコミュニティを確立すること

（各自が立場を越えてつながる **越境**・共に学び共に創る **共学共創**）

“掛け算による価値創造”

3

Society 3.0 から 4.0 への移行

1980	1990	2000	2010	2020
Society 3.0 工業社会	バブル崩壊	インターネット 急速に普及 就職氷河期 学力低下問題		Society 4.0 情報社会
規格品を大量生産することによって 個人も組織も国も豊かになれた社会 日本は成功			知識の陳腐化が速く 環境の変化に応じて 新しい 価値 を創出する 必要性が高い社会	日本は出遅れ

過去の成功体験を引きずる →

4

社会の“種類”と次世代の育成

- **農耕社会** ・均質性重視
 - ・先祖伝来の土地や文化をそのまま継承
 - ・個性や抜きん出た才能は不要
 - ・流動性(小) / 共同性(大)
- **工業社会** ・均質性重視
 - ・「規格品の大量生産」が富の源泉
 - ・人も「規格品の大量生産」・個性は封印
 - ・流動性(大) / 対話性・協働性(小) / 公助依存(大)
- **情報社会** ・多様性重視
 - ・“三人寄れば文殊の知恵”が富の源泉
 - ・「自分らしく」で熱情や個性を徹底開放
 - ・流動性(大) / 対話性・協働性(大) / 公助依存(小)

5

Society 2.0→4.0の移行例（北海道浦幌町）

地元・浦幌の関係者（林業・まちづくり）と副業で十勝に來訪する大手企業社員で「古材風新材」を販売する会社を設立

“掛け算による価値創造”

異質な者が出会い、対話を深めることで、強みを活かしあい、弱みを補いあう道が開け、新しい価値の創出に成功した・各々単独では無理

6



ゆるき
沙木健吾さん（ロート製薬から浦幌に出向）

7

掛け算による価値創造

■ **なぜ、浦幌町は事業創出に成功したのか？**

「**自分と相手**を掛け算して新たな価値を創造する」
力を持っていたから、都会の企業人がやってきた

↓

都会の企業人にとって、何か価値はあるのか？

8

明るい逆参勤交代

「都会の企業人が定期的に地方へ来て過ごす」

<p>関係人口の増大</p> <p>観光以上移住未満の人口増加 インバウンドに代わる経済活性化</p>	<p>担い手不足の解消</p> <p>営業、経営、企画、IT等 人材の共有</p>
<p>オフィス・住宅・ITの需要創造</p> <p>逆参勤交代者用の住宅、オフィス ITインフラの整備。消費・税収増</p>	<p>未来人材育成</p> <p>逆参勤交代社員の貢献 新たなワーケーション</p>

9

明るい逆参勤交代

「地方と都会の掛け算による新たな価値創造」

10

高校生に対する意識・態度

■ **Society 2.0**

- ・人は生まれ育った地で生きていくものだ。
- ・地域の担い手は地元出身者だ。
- ・進学や就職で外に出すな！
- ・長老の言うことを聞け！
- ・今まで通りのやり方に従え！
- ・勉強させるな！・・出たら帰ってこないから
- ・郷土愛を植え付けろ！
- ・外に出て戻って来い！
- ・言うことを聞く者なら 外来者は歓迎！

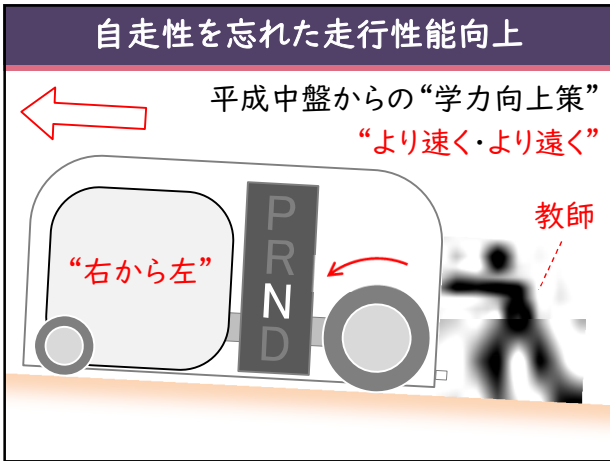
11

高校生に対する意識・態度

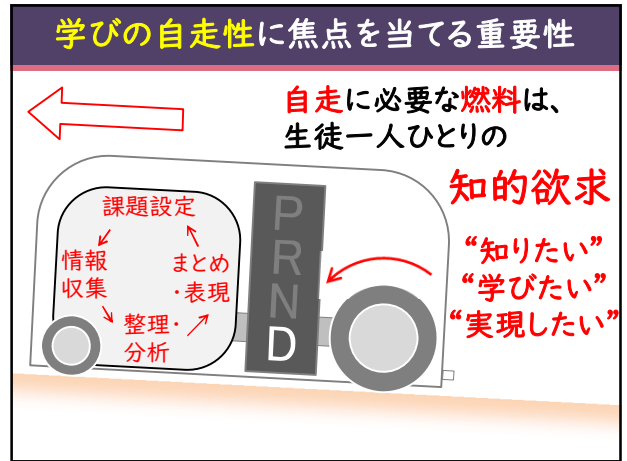
■ **Society 4.0~**

- ・生きる道は“三人寄れば文殊の知恵”だ。
- ・自分ならではの才能を存分に伸ばせ！
- ・最大限に成長&表現できる環境を選べ。
- ・才能をフルに活かせるところで生きよ。
- ・専門性を高めて広い世界を渡り歩け！
- ・地元に戻ることは優先しなくてよい。
- ・この地で成長&表現したい若者は大歓迎！
- ・この地にある資源を活かして、何かを一緒に創り出していける人物は大歓迎！

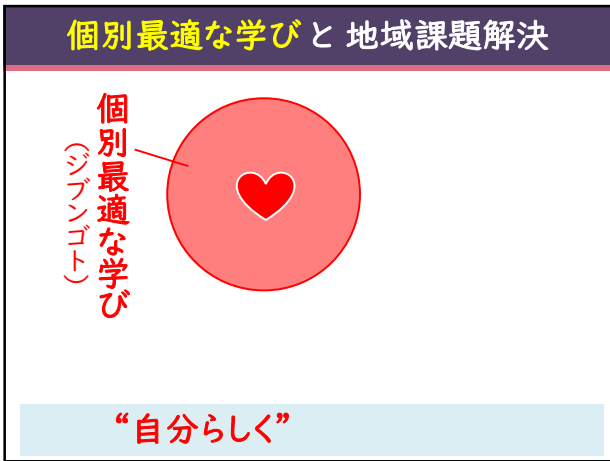
12



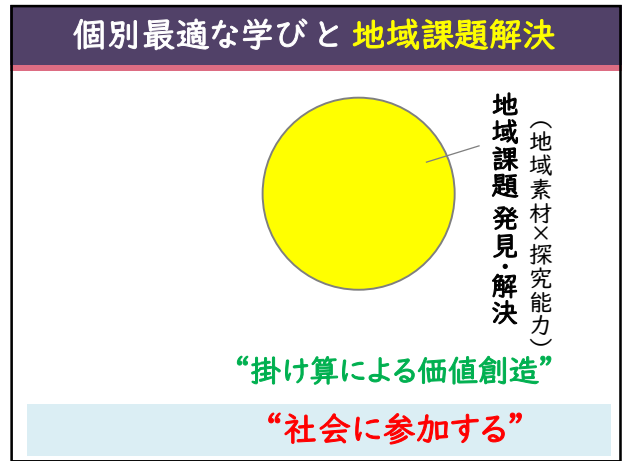
13



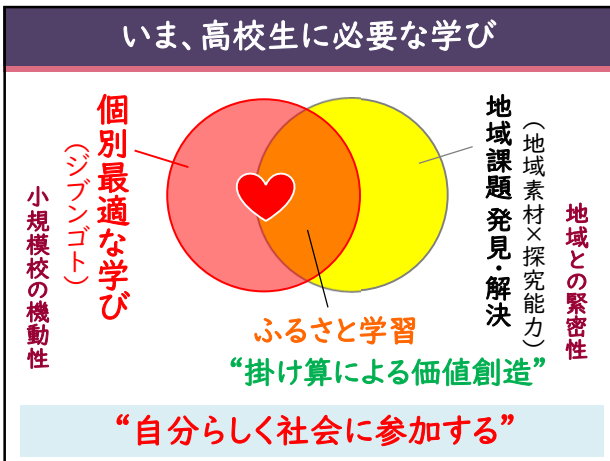
14



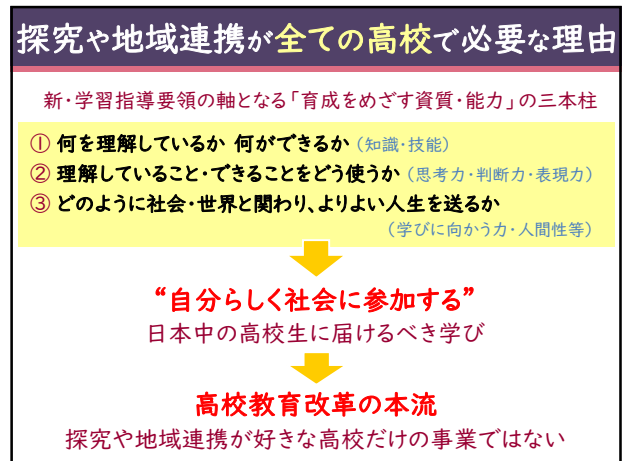
15



16



17



18

指導要領解説「総探編」に頻出する表現

- **自分軸と社会軸の統合** → “マイ・プロジェクト”
 - ・自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決していく

19

現課程（総学）と新課程（総探）の対比

【出典】文部科学省 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編

20

指導要領解説「総探編」に頻出する表現

- **自分軸と社会軸の統合** → “マイ・プロジェクト”
 - ・自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決していく
- **協働性・社会参画性・創造性**
 - ・単に協力して事に当たるとい意味ではなく、それぞれのよさを生かしながら個人ではつくりだすことができない価値を生み出す・
- **諸科目との有機性**
 - ・総探において、生徒の関心や疑問を大切に、それをよりどころとして学習活動を生み出すのは、その先で価値ある学習を実現するため・

21

茨岩高等学校の改革の軌跡

2016年度	「備考高校の科目を定める教科書」改正	1年に記簿された熱心な教員が何をしようか？
2017年度	「MOET」委員会に改組 「Integrated Field of Study Project」 授業時間外に自主的に取り組む活動が 増加。自主的に取り組む活動が 増加。自主的に取り組む活動が	2年間で「南区探究MSP」を創行し、平成30年度 学年活動として、2年連続で実施
2018年度	「MOET」授業委員の「総合探究WG」が 2年連続で発足。自主的に取り組む活動が 増加。自主的に取り組む活動が 増加。自主的に取り組む活動が	2年連続で「南区探究MSP」を創行し、平成30年度 学年活動として、2年連続で実施
2019年度	「総合探究WG」が「研究委員会」(課外)に改組 (自主活動)として、自主的に取り組む活動が 増加。自主的に取り組む活動が 増加。自主的に取り組む活動が	2年連続で「南区探究MSP」を創行し、平成30年度 学年活動として、2年連続で実施

【出典】大正大学出版会『地域人』第60号

22

2年生で行った「総合的な学習の時間」のテーマ

南区探究 MSP

M…藻岩 (Moiva) × 南区 (Minami-ku)
S…笑顔 (Smile) × 持続可能 (Sustainable)
P…計画 (Project) × 人々が集う場 (Platform)

23

茨岩高等学校「総合的な探究の時間」全体計画 (2018年度～2019年度)

未来に向けた新たな学びを創出する 一歩は可能な社会に向けて

目標

ステージ

【出典】大正大学出版会『地域人』第61号

24

札幌藻岩高校における講演内容（抜粋）

■ **社会に出たときに求められる力**

- ・ よりよい **提案・アイデア・プラン** を生み出す力

||

仮説
(Aをする)と(Bという結果が出る)はずだ。

仮説が正しければ、結果を出せるが、
仮説が間違っていれば、結果は出せない。

↓

「より正しい**仮説**を生み出す力」が必要

25

札幌藻岩高校における講演内容（抜粋）

① **思いつきレベルの提案**

地域課題の講話・見学等
解決プラン(仮説)を形成 (**思いつき**)

↓

思考プロセスに
再現性・応用性なし

解決プラン(仮説)の提案 (**実効性なし**)

26

札幌藻岩高校における講演内容（抜粋）

② **妥当性がある提案**

地域課題の講話・見学等
解決プラン(仮説)を形成
前提条件の洗い出し
仮説(前提条件)の吟味

↓

解決プラン(仮説)の提案 (**実効性あり**)

探究プロセス

課題設定
(~は正しいか?)
情報収集
整理・分析
まとめ・表現

27

札幌藻岩高校における講演内容（抜粋）

③ **実践して仮説を検証**

地域課題の講話・見学等
解決プラン(仮説)を形成
前提条件の洗い出し
仮説(前提条件)の吟味

↓

解決プラン(仮説)の提案 (**実効性あり**)
解決プランの実践(仮説の検証)
解決プラン(仮説)の修正
一連の思考経緯を発表

探究プロセス

課題設定
(~は正しいか?)
情報収集
整理・分析
まとめ・表現

28



2年生で行った「総合的な学習の時間」のテーマ

南区探究 MSP

藻岩高等学校のある南区が、
これからも**賑わい**られるまでであり続けるために、
地域のことを知り、高校生ができることをみんなで考え、
地域の人々と関わり、意見交換しながらその計画を実行し、
持続可能な取り組み、持続可能なまちづくりに
積極的に取り組んでいくことを目指す。

M…藻岩(Moiva) × 南区(Minami-ku)
S…笑顔(Smile) × 持続可能(Sustainable)
P…計画(Project) × 人々が集う場(Platform)

29

藻岩高等学校「総合的な学習の時間」全体計画 (MSP) の内容

未来に向けた新たな学びを創出する 一歩が可能な社会に向けて

進捗状況	内容	目標
実施済み	地域課題の講話・見学等 解決プラン(仮説)を形成 前提条件の洗い出し 仮説(前提条件)の吟味	解決プラン(仮説)の提案 (実効性あり)
実施中	解決プランの実践(仮説の検証) 解決プラン(仮説)の修正 一連の思考経緯を発表	解決プランの実効性を検証する
実施予定	探究活動の振り返り 探究活動の成果発表	探究活動の成果を発表する

【出典】大正大学出版会『地域人』第61号

30



ミライ design

2年 (MSPの前)
何となく「英文学科」

↓

3年 (MSPの後)
この商店街に
「食べ歩きの文化」を
つくりたいから「**プロジェクト・マネジメント**
を学べる大学」を志望
(活動も継続中)

31

そして、今年度・・・

11 今後の計画・講演会・WS・FWがNGな中🙄

◆ 2学年MSP

● スケジュール (Stage1・2・3)

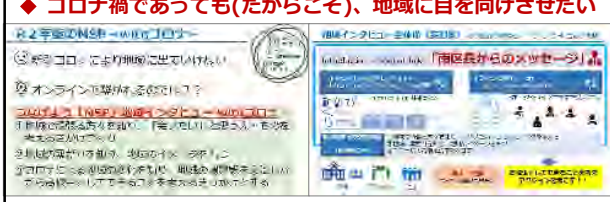
日	内容	担当	形式	内容	出席
15	2学年MSP
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

提供: 市立札幌藻岩高校

32

12 ピンチはチャンス!

◆ コロナ禍であっても(だからこそ)、地域に目を向けさせたい



**新型コロナで自由や楽しみ、安心を奪われた地域に、
高校生のアクションで笑顔を取り戻す!!**

提供: 市立札幌藻岩高校

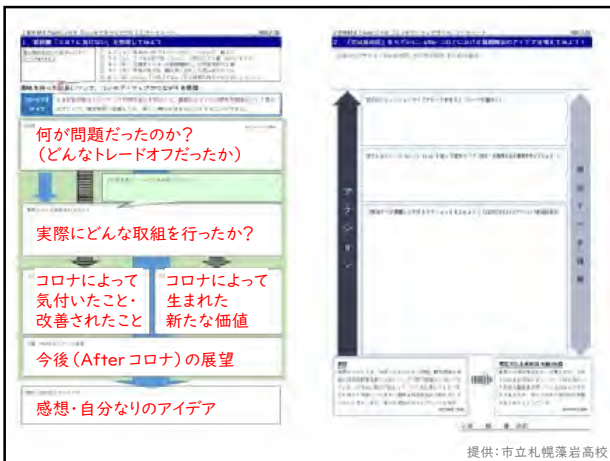
33

朝読書「コロナに負けない」を整理してみよう

- 6日(月)「再考の一杯デリバリーでも」
ラーメン店 梅光軒
- 7日(火)「子どもの前で笑っていたい」
認定こども園 末広こまどり
- 8日(水)「高濃度アルコール医療機関に」
合同酒精旭川工場
- 9日(木)「感染対策万全 観光客に訴え」
大雪山観光ホテル
- 10日(金)「安心してお産できるように」
産婦人科せせらぎ通りクリニック

提供: 市立札幌藻岩高校

34



何が問題だったのか?
(どんなトレードオフだったか)

実際にどんな取組を行ったか?

コロナによって
気付いたこと・
改善されたこと

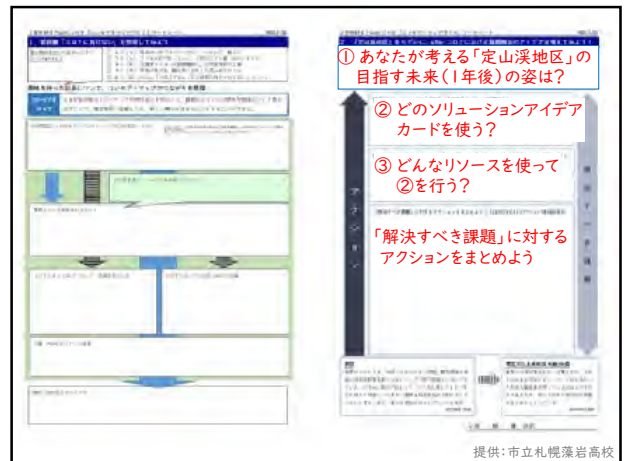
コロナによって
生まれた
新たな価値

今後 (After コロナ) の展望

感想・自分なりのアイデア

提供: 市立札幌藻岩高校

35



① あなたが考える「定山溪地区」の
目指す未来(1年後)の姿は?

② どのソリューションアイデア
カードを使う?

③ どんなリソースを使って
②を行う?

「解決すべき課題」に対する
アクションをまとめよう

提供: 市立札幌藻岩高校

36

① あなたが考える「定山溪地区」の
目指す未来(1年後)の姿は？

② どのソリューションアイデア
カードを使う？

③ どんなリソースを使って
②を行う？

「解決すべき課題」に対する
アクションをまとめよう

提供：市立札幌藻岩高校

37

札幌藻岩高校 2年生 最新状況

長井 翔
2020年9月12日

怒涛の一週間。3年目になる2年生のMSPがようやく始動。
あるグループに「こんな人いるよ」と新聞記事を紹介したら
(自分は面識なし)、その日のうちに「インスタ見つけたんで、
フォローしてDM送ってzoomでインタビューさせてもらうこと
になりました」ですって。そんなグループが一つ二つではない
こちらでお膳立てしなくても走り出す生徒達。
むしろ若干制御不能!?

自分のマイテーマを見つけると自走することを改めて実感。
そして、自走を認める風土が校内に出来つつあるということ。

38

札幌藻岩高校は『地域人』
第60号(2020.8)と
第61号(2020.9)で
ご紹介しています

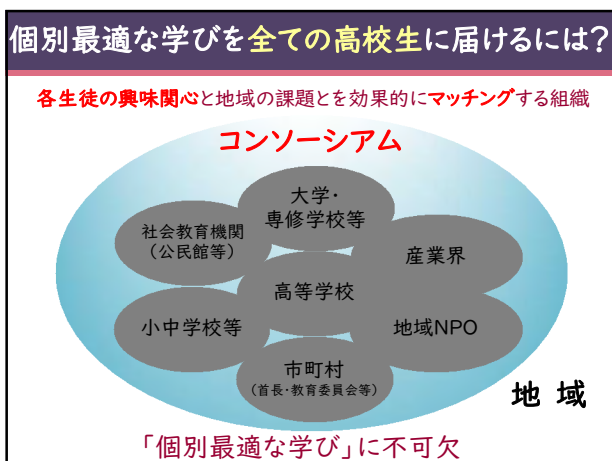
39

現課程(総学)と新課程(総探)の対比

総合的な学習の時間	総合的な探究の時間
<p>一律的な課題</p> <p>よりよく課題を解決する</p> <p>自己の生き方を考えていく</p>	<p>個に応じた課題</p> <p>自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく</p> <p>個別最適な学び</p>

【出典】文部科学省 高等学校学習指導要領(平成30年告示) 解説 総合的な探究の時間編

40



41



42

「小規模校サミット」と国語の有機化

全国の小規模校に通う皆さんへ

はじめまして、私は山形県小国町にある唯一の公立高校山形県立小国高等学校に通う二年の吉田健人です。ここでは日々、生徒生活から地域生活まで、小国町の山々、水、空、緑、そして人々の笑顔が溢れています。小国町の公立高校は、小規模校サミットの開催を機に、全国的な視野から、小国町の教育のあり方を再考し、地域に根ざした教育のあり方を模索しています。全国的な視野から、小国町の教育のあり方を再考し、地域に根ざした教育のあり方を模索しています。

今年、私は国語の授業で、先生から「国語の授業は、単に知識を教えるだけでなく、生徒の考えや感情を育てることが大切だ」と教わりました。先生の話は、私にとって大きな気づきでした。国語の授業は、単に知識を教えるだけでなく、生徒の考えや感情を育てることが大切だ。

最後に、小規模校に通う皆さんへ、私の話を聞いていただき、ぜひ、自分たちの学校で、国語の授業を、もっともっと、大切にしてください。そして、国語の授業を通じて、自分たちの学校を、もっともっと、好きになってください。

令和元年五月
山形県立小国高等学校
サミットメンバー 吉田健人

43

カリキュラム・マネジメントと個別最適化

各生徒の中で「学びが組織化」されているか

44



45

「高校と地域の将来像」に関する探究

中教審部会が「普通科改革・スクールミッション」を掲げた

▼

- 自問
 - ・なぜ普通科改革・スクールミッションなのか？
- 自答
 - ・関係資料を読み込んだら、次の記述が目にとまった

これからの高等学校教育においては、地域の自治体や産業界、社会教育機関、地域のNPO法人などの**多様な主体と協働体制を構築**するとともに、他の学校や高等教育機関等の関係機関とも連携を図ることで、各学校をとりまく課題や状況に対応し、**20年後・30年後の社会を見据えた学び**を提供していくことが求められている。

46

「高校と地域の将来像」に関する探究

- 自問
 - ・具体的にはどうということか？
- 自答
 - ・飛騨市学園構想が浮かんだ。

47

夕刻に富山駅で出会い、「白えび亭」で晩ごはん

保育園・小学校・中学校・高校・特別支援学校・家庭・地域が総掛かりで次世代を育てる仕組みを創りたい。

飛騨市ならできちゃうと思うんですね！

岐阜県飛騨市 都竹淳也市長

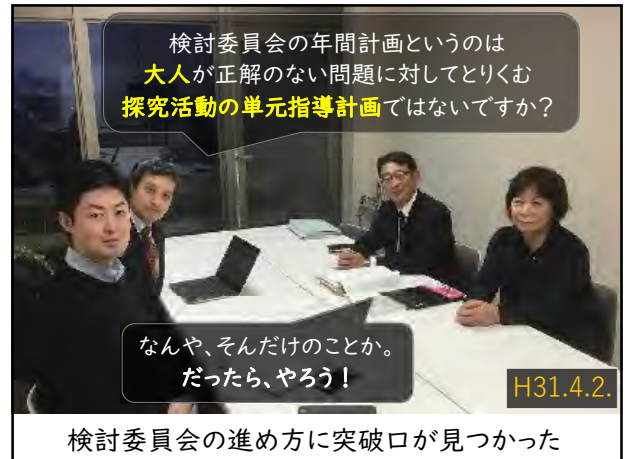
H30.12.13.

平成30年度の中盤に「飛騨市学園構想」を打ち出す

48



49



50



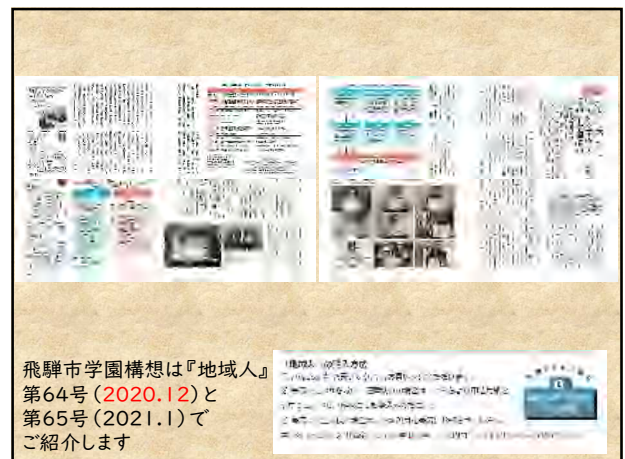
51



52



53



54

「高校と地域の将来像」に関する探究

- **自問**
 - ・ 具体的にはどういふことか？
- **自答**
 - ・ 飛騨市学園構想が浮かんだ。
 - ・ 断片化された機関・個人には見えない全体像・未来像が多様な立場の者が対話的・協働的に探究することで浮かび上がり、各者が果たすべき役割が明確になり、全体のチーム性や、各者の参画性が高まっていた。
 - ・ この文脈で考えればよいのだと、手がかりが得られた。

55

「高校と地域の将来像」に関する探究

- **自問**
 - ・ 他に同様の例はないか？
- **自答**
 - ・ 地域医療IPEやSCHシンポジウムが浮かんだ。

56

地域医療の多職種間連携研修

Interprofessional Education ; IPE

【研修】 職種（医師・看護師・ケアマネ等）別

【弊害】 「一人の患者」に対するケアが噛みあわず、患者・家族・医療福祉スタッフ等にシワ寄せ

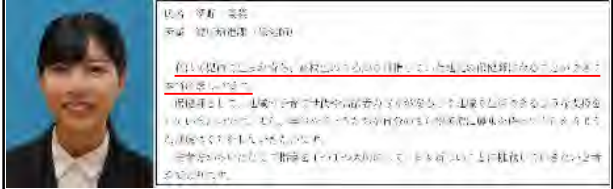
↓

【研修】 職種を越えて「一人の患者」のケアを検討

【効果】 各者とも、負担は軽減され、満足度は向上

先駆者と出会い、「高校生も混ぜてみようか？」

57




私は可見市で生まれ育ち、
高校生のころから目指していた地元の保健師
になることができて**本当に嬉しいです。**

H31.4.1.

【出典】 可見市役所 庁内紙（平成31年4月）

58

「高校は人口流出装置」という危機感の下、高校生に関わる多様な人々（教職員・行政職員・市民団体会員・事業者・個人有志・・・）が一堂に会し、対話を通して「**人づくりと地域づくりを一体的に進める仕組み**」を創り出す研修交流会



H30.2.24.

第4回・SCHシンポジウム（山形・東北芸術工科大学）

59

新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアム設立総会
山形県最上地域、管内4高校の校長、8市町村の首長、最上総合支庁長、民間団体、農工商の産業団体によりコンソーシアムが設立された。



H31.3.19.

SCHシンポ（**共学共創の場**）から**コンソーシアム**が誕生

60

「高校と地域の将来像」に関する探究

■ **自問**

- ・他に同様の例はないか？

■ **自答**

- ・地域医療IPEやSCHシンポジウムが浮かんだ。
- ・多様なセクターの越境による共学共創コミュニティには全体像や未来像、各者が果たすべき役割を明らかにし、チーム性・参画性・意欲を高める効果があると確信した。

61

「高校と地域の将来像」に関する探究

■ **自問**

- ・共学共創には、何か他に特徴的な機能はないか？

■ **自答**

- ・地域医療IPEでは患者さんが加わると議論が深まり、参加した高校生の意欲も高まり、大きく成長した。
- ・SCHシンポジウムでも高校生が加わると議論が深まり、高校生の当事者性や意欲も高まり、大きく成長した。
- ・共学共創の場には、次世代の意欲を高め、育成する機能もあると確信できた。

62

「高校と地域の将来像」に関する探究

■ **自問**

- ・高校と地域はどんな関係性を構築すればよいのか？

■ **自答**

- ・共学共創の関係性がゴールであることは間違いない。
(高校教職員は、校内でも…)

63

共学共創コミュニティに共通する機能

- ① 地域医療のIPE (InterProfessional Education)
- ② 飛騨市学園構想
- ③ SCHコミュニティ (Super Community High school)

↓ 共通点

多様なセクターが越境し、共学共創するコミュニティには全体像や未来像を鮮明に見通せるようになるとともに各者が自身の役割を自覚でき、参画意欲も高まり全体のチーム性も向上する…という機能がみられる
当事者(高校生等)が参画すると一層パワーアップ

64

新時代の高校像とスクール・ミッション

中央教育審議会 初等中等教育分科会
第11回 新しい時代の初等中等教育の在り方特別部会（令和2年7月17日）
「新時代に対応した高等学校教育の在り方」（論点整理） **VUCA対応**

● **スクール・ミッションや普通科改革が打ち出された文脈**
高校が“生徒に縁のある地域の多様な人々”とともに

- ・20~30年後、どんな世の中になるのか？
- ・地域をどうしていけばよいのか？
- ・どんな次世代を育てていけばよいのか？
- ・どのように役割を果たしあっていけばよいのか？

を探究した上で、自校が社会の未来に果たすべき使命を明確化し、各校が使命の達成に必要な教育課程を柔軟に編成できるよう、弾力化した方がよいのではないかと？

65

高校改革に向けた共学共創感覚の重要性

多様なセクターによる越境・共学共創に対するリアリティ

低い ↓		↑ 高い
描けない (部分最適・現在最適)	世界・社会・地域の 全体像や未来像	描ける (全体最適・未来最適)
形式的(意味なし)	スクールミッション スクールポリシー	実質的(意味あり)
低い	コンソーシアムの機能 (チーム性・参画性)	高い
通り慣れた道 (偏差値指向/探究・地域は無駄)	人々が選ぶ道 (高校教育への期待)	未来に通じる道 (地域で協働的に探究)
消耗・枯渇(受動的)	教師・生徒の意欲	向上・充実(主体的)
低い(硬直)	教育課程の柔軟性	高い(柔軟)
低い	普通科改革の実現性	高い

66

「連携が困難な現実」をどう捉えるか？

- 現在から未来を見て
「連携や協働が実現した社会」と捉えるよりも、
未来から現在を見て
「分断や孤立が多発している社会」と捉えた方が、
事の本質をより端的に把握できる。
- いま連携に踏み出せない人とは、
社会につながる力を持ちえていない人であり、
社会的に孤立している人である。
… その身分は行政職員・教職員・会社員かもしれない。

67

未来からの社会的包摂

- 国など政策立案者が現場に「～べき論」を下ろすのは、
現に社会から孤立している人に向かって「つながれ」
「社会に参加しろ」と自助を求めているのと同じ。
- それゆえ、期待と現実の乖離を防ぐには、これは
「社会的に孤立」している人々に対する「社会的な包摂」
の問題と捉えるのが妥当。
- 換言すれば、現に孤立している人々に対して
「多様な者どうしつながって連携を」と求めるよりも、
「孤立している人々を包摂して多様性を高める」方が、
より効果的であり、より多くの人を救える可能性が高い。

68

2020年の衝撃・・

- 2019年度
文科省・地域との協働による高等学校教育改革推進事業
が始まる等、探究や地域協働が全国的に前進する兆し
- ↓
- 2020年度
・ コロナ禍によって多くの高校が硬直化
(地区によっては人事異動の影響も甚大)
・ 高校教育改革に関する中教審の議論がさらに進展
- ↓
- 地域の側からも強かに高校改革を支援する必要性が増大
(社会的に孤立する高校を包摂するには?)

69

コロナ禍がくれたチャンス

- コロナ前
 - ・ 学校・家庭・地域が「危機感を共有できる
機会」や「共通の話題」はほとんどなかった。
 - ・ 連携に着手するハードルは非常に高かった。
- ↓ コロナ感染拡大に伴う危機の襲来
- コロナ後 **生徒とも**
 - ・ コロナを持ち出せば 学校・家庭・地域は
「危機感や話題を共有」できる状況が訪れた。
 - ・ 連携に着手するハードルは劇的に下がった。

70

今だからこそ可能な探究活動

- ① 新型コロナウイルスに関するニュースを見て「おや？」
「えっ？」と感じ、「知りたい!」「調べてみたい!」と
思ったことを、浮かぶ限り書き出さない。
- ② ①のうち最も重要だと思う
『問い』を3つ選びなさい。 **問いづくり**
- ③ ②について、安全を確保できる範囲
で、書籍・インターネット・インタビュー
等によって調べ、まとめなさい。 **課題設定**
情報収集
整理・分析
まとめ・表現
- ④ 調べたり、まとめたりする過程で、感じたこと・
思ったこと・考えたことがあれば、書き出さない。

71

今だからこそ可能なキャリア教育

- ⑤ 新型コロナウイルスの感染拡大によって、あなたの
家族など、身近な人の仕事や生活にどのような
変化が起きましたか？
- ⑥ (⑤を換言して) 新型コロナウイルスの感染が「拡大
した後に成り立たなくなった地域の仕組み」から
「拡大する前には普通に成り立っていた地域の
仕組み」を再現しなさい。

(つづく)

72



コロナ時代の今「どんな大人が、何を感じ、どんな課題に、どんな展望を持ち、どう挑んでいるか」を収録したオンライン・ライブラリーを開設し、関係する高校の教職員や生徒がいくつか選択して視聴するよう手配する。

- ・収録前に高校とも「趣旨・内容・利用法・留意点」等を十分に共有しておく。
- ・コンセプトを共有する「通学圏外のチャンネル」を相互利用できるとうい。

高校生の探究 課題設定

② 「もっと聴きたい」講師宛てに質問を送信する

- ・送信先は該当講師の「zoom交流会」に限定
- ・浮かんだ多数の質問から数個を選んで送信

79

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

高校生の探究 情報収集

③ その講師に質問を送った生徒らが集まる

- ・教職員は「社会・教科・進路」をつなぐべく参加
- ・圏域内外の複数校から参加 ・聴くだけでも可

80

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

高校生の探究 情報収集

④ 自ら設定した課題を各生徒が大人に伝える

- ・まずは動画を視聴した感想を述べる
- ・この課題に行き着くまでの経緯を説明する

81

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

高校生の探究 情報収集

④ 自ら設定した課題を各生徒が大人に伝える

- ・まずは動画を視聴した感想を述べる
- ・この課題に行き着くまでの経緯を説明する

82

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

高校生の探究 情報収集

⑤ 生徒が講師らに「1つずつ」質問する

- ・予め送った内容に補足説明をして質問する

83

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

高校生の探究 情報収集

⑥ 講師や関係者が回答する

- ・必要に応じて関連した内容を補足する

84

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
D	E	F
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究 情報収集 ⑥ 講師や関係者が回答する
 ・必要に応じて関連した内容を補足する

85

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
D	E	F
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究 情報収集 ⑥ 生徒が講師らに「1つずつ」質問する
 ・予め送った内容に補足説明をして質問する

86

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
D	E	F
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究 情報収集 ⑥ 講師や関係者が回答する
 ・必要に応じて関連した内容を補足する

87

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
D	E	F
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究 情報収集 ⑥ 講師や関係者が回答する
 ・必要に応じて関連した内容を補足する

88

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
D	E	F
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究 情報収集 ⑦ 教職員が質問を発するのはもちろんOK
 ・「社会・教科・進路」をつなぐ役割の一環です
 ・生徒に「教職員ならではの」問いかけも有益

89

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
D	E	F
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究 整理・分析 ⑧ ディスカッション
 ・各生徒は意見交換しながら考えを表明する
 ・大人は各生徒の思考が深まるよう問いかける

90

D	E	
生徒(1)	生徒(2)	

高校生の探究
まとめ・表現

⑨ 各生徒は探究の成果をまとめる
 ・結論を要約・図式化したシートを作成する
 ・大人は「ブレイクアウト・セッション」

91

A	B	C
講師	講師の関係者	CN コーディネーター ファシリテーター
		F 教職員(担当)

高校生の探究
まとめ・表現

⑩ 大人のミーティング（ブレイクアウト・セッション）
 ・「次の探究」「各教科や進路との接続」を検討
 ・後日「教職員は学校」「CNは地域」で成果を共有

92

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究
まとめ・表現

⑪ 各生徒が探究の成果を発表する
 ・結論を要約したシートを示しながら話す
 ・「新たな疑問」も披露できるとベター

93

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究
まとめ・表現

⑪ 各生徒が探究の成果を発表する
 ・結論を要約したシートを示しながら話す
 ・「新たな疑問」も披露できるとベター

94

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究
まとめ・表現

⑫ コメントや感想を伝えあう
 ・大人からは激励や「次への助言」を行う

95

A	B	C
講師	講師の関係者	コーディネーター ファシリテーター
生徒(1)	生徒(2)	教職員(担当)

高校生の探究
まとめ・表現

⑫ コメントや感想を伝えあう
 ・大人からは激励や「次への助言」を行う

96

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

⑫ コメントや感想を伝えあう
・大人からは激励や「次への助言」を行う

高校生の探究
まとめ・表現

97

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

⑫ コメントや感想を伝えあう
・大人からは激励や「次への助言」を行う

高校生の探究
まとめ・表現

98

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

⑫ コメントや感想を伝えあう
・大人からは激励や「次への助言」を行う

高校生の探究
まとめ・表現

99

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

⑫ コメントや感想を伝えあう
・大人からは激励や「次への助言」を行う

高校生の探究
まとめ・表現

100

A 講師	B 講師の関係者	C コーディネーター ファシリテーター
D 生徒(1)	E 生徒(2)	F 教職員(担当)

◎ オンライン茶話会（オプション）
・終了後に事情が許せば・・・

高校生の探究
番外編

101

考えるための技法

- 順序付ける
 - 複数の対象について、ある観点や条件に沿って対象を並び替える。
 - 比較する
 - 複数の対象について、ある観点から共通点や相違点を明らかにしする。
 - 分類する
 - 複数の対象について、ある観点から共通点のあるもの同士をまとめる。
- 関連付ける
 - 複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
 - ある対象に関係するものを見付けて並べていく。
 - 多面的に見る・多角的に見る
 - 対象のらへつ複数の側面に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。
 - 関連付ける（原因や結果を見付ける）
 - 対象の理由や原因、結果を見付けたり予想したりする。
- 見直す（結果を予想する）
 - 見直しを点てる。物事の結果を予想する。
 - 具体化する（数値化する、空想する）
 - 対象に関する上位概念・総論に当てはまる具体例を挙げたり、対象を具体化する。知識や要素に当てはめたりする。
- 細分化する（一般化する、統合する）
 - 対象に関する上位概念や法則を挙げたり、複数の対象を一つにまとめるたりする。
- 類比化する
 - 考えを類比的（類推的・類轉的など）に整理する。

高等学校
学習指導要領解説
『総探編』p.97に
例示されている

102

“考えるための技法”＝“思考力”の具体的表現

- ① 順序付ける
- ② 比較する
- ③ 分類する
- ④ 関連付ける
- ⑤ 多面的に見る・多角的に見る
- ⑥ 理由付ける（原因や根拠を見付ける）
- ⑦ 見通す（結果を予想する）
- ⑧ 具体化する（個別化する, 分解する）
- ⑨ 抽象化する（一般化する, 統合する）
- ⑩ 構造化する

103

“考えるための技法”＝“思考力”の具体的表現

- ① 順序付ける
 - ・ 複数の対象について, ある視点や条件に沿って対象を並び替える。
- ② 比較する
 - ・ 複数の対象について, ある視点から共通点や相違点を明らかにする。
- ③ 分類する
 - ・ 複数の対象について, ある視点から共通点のあるもの同士をまとめる。
- ④ 関連付ける
 - ・ 複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
 - ・ ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

104

“考えるための技法”＝“思考力”の具体的表現

- ⑤ 多面的に見る・多角的に見る
 - ・ 対象のもつ複数の性質に着目したり, 対象を異なる複数の角度から捉えたりする。
- ⑥ 理由付ける（原因や根拠を見付ける）
 - ・ 対象の理由や原因, 根拠を見付けたり予想したりする。
- ⑦ 見通す（結果を予想する）
 - ・ 見通しを立てる。物事の結果を予想する。

105

“考えるための技法”＝“思考力”の具体的表現

- ⑧ 具体化する（個別化する, 分解する）
 - ・ 対象に関する上位概念・規則に当てはまる具体例を挙げたり, 対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。
- ⑨ 抽象化する（一般化する, 統合する）
 - ・ 対象に関する上位概念や法則を挙げたり, 複数の対象を一つにまとめたりする。
- ⑩ 構造化する
 - ・ 考えを構造的（網構造・層構造など）に整理する。

106

「化学基礎」における「考えるための技法」活用

ダイヤモンド・石英・ナフタレン・ドライアイス

ダイヤモンド	・ 硬い	・ 融点が高い	共有結晶
石英	・ 硬い	・ 融点が高い	共有結合は強い
ナフタレン	・ 軟らかい	・ 融点が高い	分子結晶
ドライアイス	・ 軟らかい	・ 融点が高い	分子間力は弱い

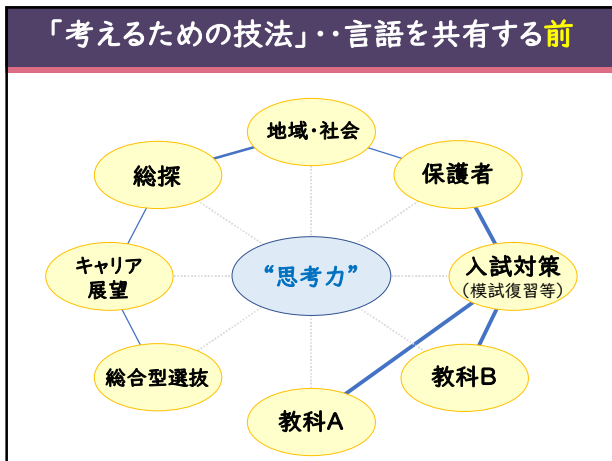
分類する
多面的に見る・多角的に見る
理由付ける（原因や根拠を見付ける）
関連付ける

107

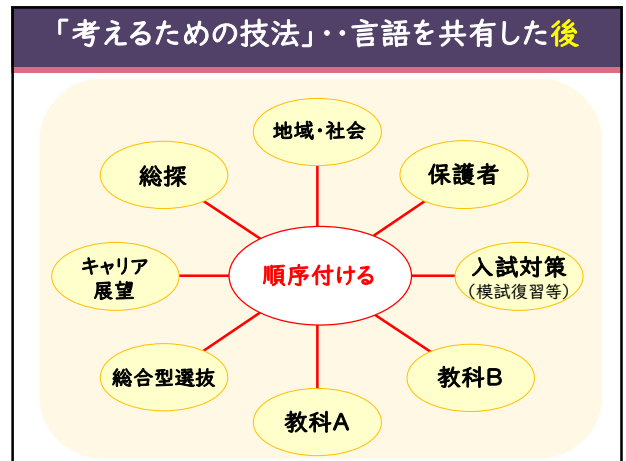
教師・生徒・保護者・地域で広く共有可能

- ① 順序付ける
- ② 比較する
- ③ 分類する
- ④ 関連付ける
- ⑤ 多面的に見る・多角的に見る
- ⑥ 理由付ける（原因や根拠を見付ける）
- ⑦ 見通す（結果を予想する）
- ⑧ 具体化する（個別化する, 分解する）
- ⑨ 抽象化する（一般化する, 統合する）
- ⑩ 構造化する

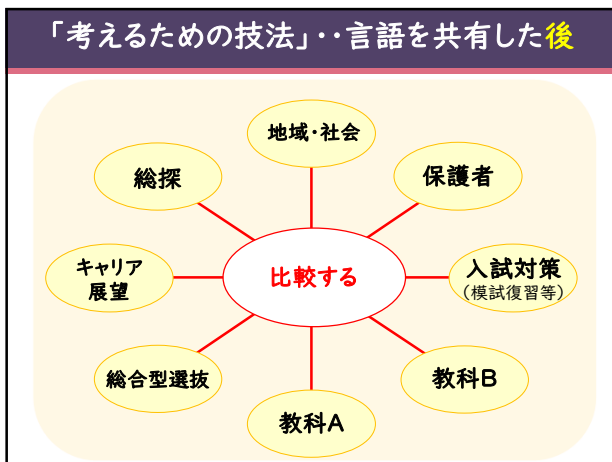
108



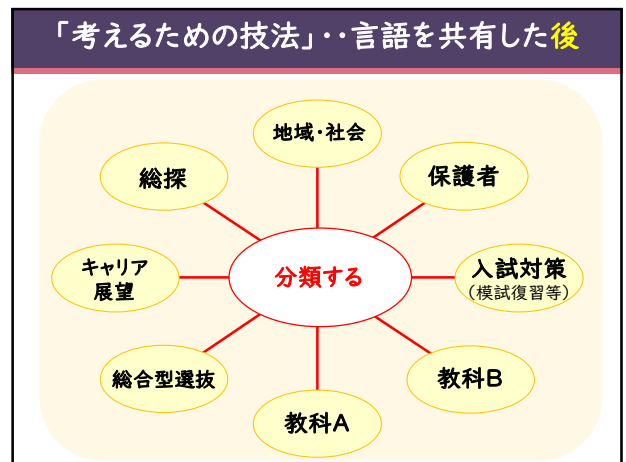
109



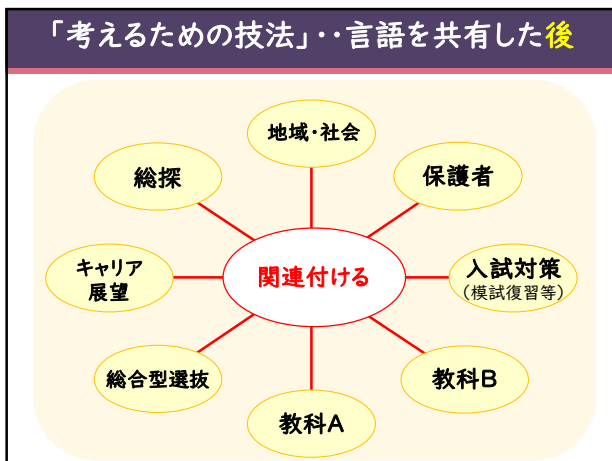
110



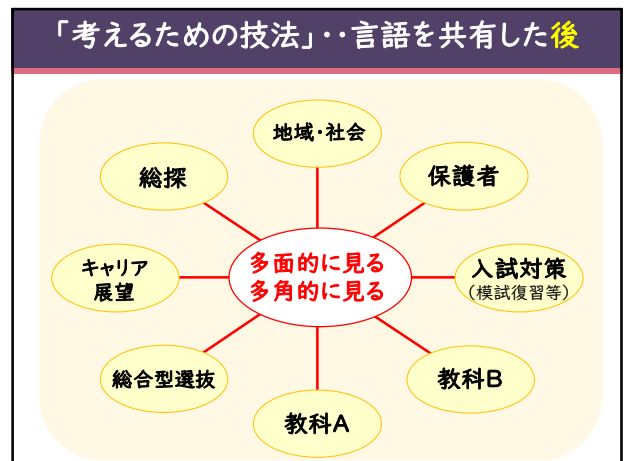
111



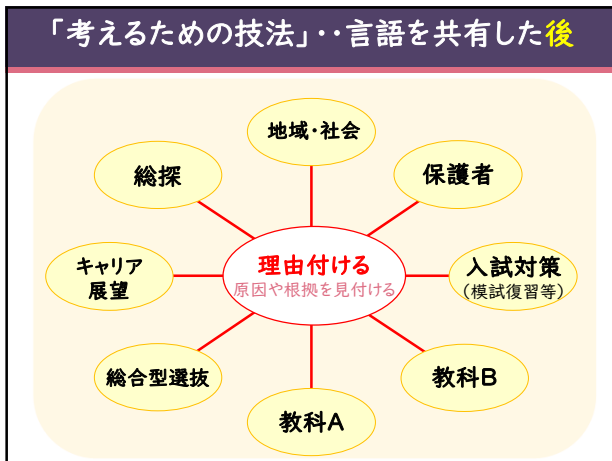
112



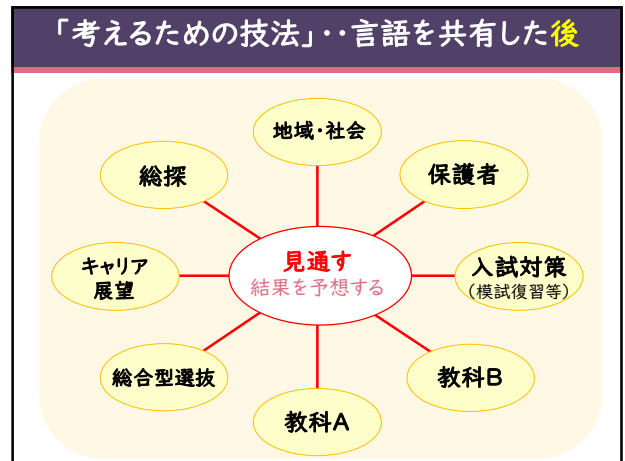
113



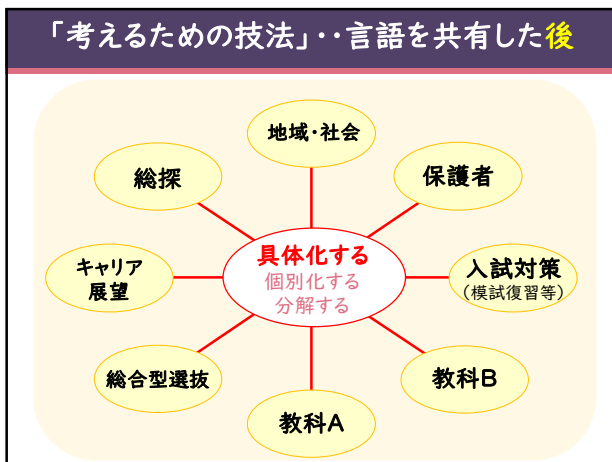
114



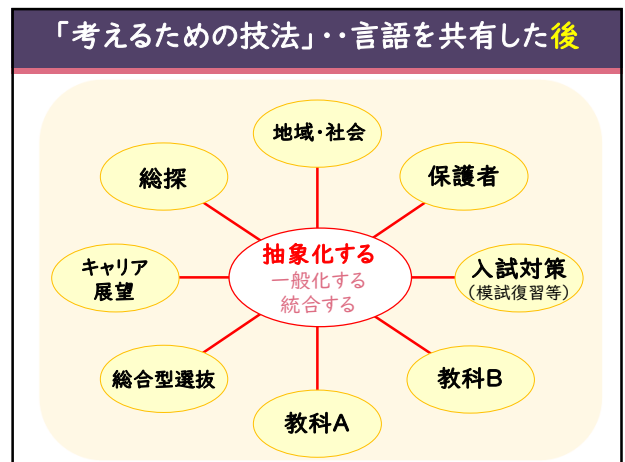
115



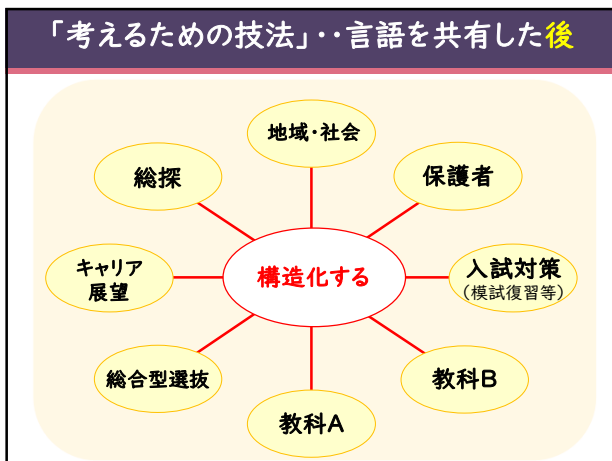
116



117



118



119

- 教師・生徒・保護者・地域で広く共有可能
- ① 順序付ける
 - ② 比較する
 - ③ 分類する
 - ④ 関連付ける
 - ⑤ 多面的に見る・多角的に見る
 - ⑥ 理由付ける (原因や根拠を見付ける)
 - ⑦ 見通す (結果を予想する)
 - ⑧ 具体化する (個別化する, 分解する)
 - ⑨ 抽象化する (一般化する, 統合する)
 - ⑩ 構造化する

120

大人の探究における「考える技法」活用

■ **自問**

- ・ 具体的にはどういふことか？

■ **自答**

- ・ 飛騨市学園構想が浮かんだ。
- ・ 断片化された機関・個人には見えない全体像・未来像が多様な立場の者が対話的・協働的に探究することで浮かび上がり、各者が果たすべき役割が明確になり、全体のチーム性や、各者の参画性が高まっていた。
- ・ この文脈で考えればよいのだと、手がかりが得られた。

具体化する（個別化する、分解する）

- ・ 対象に関する上位概念・規則に当てはまる**具体例**を挙げたり、対象を構成する下位概念や要素に分けたりする。

121

大人の探究における「考える技法」活用

■ **自問**

- ・ 他に同様の例はないか？

■ **自答**

- ・ 地域医療IPEやSCHシンポジウムが浮かんだ。
- ・ 多様なセクターの**越境**による**共学共創**コミュニティには全体像や未来像、各者が果たすべき役割を明らかにし、チーム性・参画性・意欲を高める効果があると確信した。

関連付ける

- ・ 複数の対象がどのような関係にあるかを見付ける。
- ・ ある対象に関係するものを見付けて増やしていく。

122

大人の探究における「考える技法」活用

■ **自問**

- ・ 共学共創には、何か他に特徴的な機能はないか？

■ **自答**

- ・ 地域医療IPEでは患者さんが加わると議論が深まり、参加した高校生の意欲も高まり、大きく成長した。
- ・ SCHシンポジウムでも高校生が加わると議論が深まり、高校生の当事者性や意欲も高まり、大きく成長した。
- ・ 共学共創の場には、次世代の意欲を高め、育成する機能もあると確信できた。

多面的に見る・多角的に見る

- ・ 対象のもつ複数の性質に着目したり、対象を異なる複数の角度から捉えたりする。

123

「化学基礎」における「考える技法」活用

ダイヤモンド・石英・ナフタレン・ドライアイス

ダイヤモンド	・ 硬い	・ 融点が高い	共有結晶
石英	・ 硬い	・ 融点が高い	共有結合は 強い
ナフタレン	・ 軟らかい	・ 融点が高い	分子結晶
ドライアイス	・ 軟らかい	・ 融点が高い	分子間力は 弱い

分類する

多面的に見る・多角的に見る

理由付ける（**原因や根拠を見付ける**）

関連付ける

124

理由づける考え方と見通す考え方

<p>・ 化学の授業</p> <p>実験前</p> <p>①どのような結果になるかの予想</p> <p>②そのように考えた理由</p> <p>実験後</p> <p>②結果を把握</p> <p>③結果を分析し、そこから考えられることを考察</p>	<p>・ 地域経済</p> <p>経済をより良くするための仮案</p> <p>①それによる影響の予想</p> <p>②そのように考えた理由</p> <p>実施後</p> <p>③変化が生まれたかの把握</p> <p>④結果を分析し、そこから考えられる反省点を挙げる</p>
--	--

2031102 細田 真歩

125

同意点を探っていく。

■ **地域経済の手順と数学の共通性**

```

    graph TD
      A[まず地域のことを知る。(認知)] --> B[公式や知識・情報を覚える]
      A --> C[課題を見つける。(発見)※]
      C --> D[地域内において使えるもの・事柄を発見(模索)]
      D --> E[実践する]
      E --> F[結果を確認]
      F --> G[※へ]
      
      B --> H[問題に取り組む]
      H --> I[自分にとっての問題を見つける※]
      I --> J[自分の知識での解法を模索]
      J --> K[実際にやってみる]
      K --> L[結果を確認]
      L --> M[※へ]
      
      C --> I
      D --> J
      E --> K
      F --> L
  
```

06A(スターA) 2031062 鈴木 駿介

126

「資質・能力」と「高大接続」

大学入学者選抜では「資質・能力」を評価している
（文科省の指示 = その比重は今後ますます増大）

■試験科目
（例）大正大学「地域人材育成入試」

■一次審査
学校や地域における様々な活動を通して、高等学校教育で身につけるべき「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」をどのように高めてきたか、**具体的な事実やエピソード**を交えて記述してください。

※ 学校や地域における様々な活動を通して、高等学校教育で身につけるべき「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」をどのように高めてきたか、具体的な事実やエピソードを交えて記述してください。

※ 本学地域創生学部を志望し、「地域人材育成入試」に出願するに際した際、学校や地域における様々な活動とつなげて具体的に記述してください。

127

「問い」が学びをつなぐ可能性

■ 宮城県立五ヶ瀬中等教育学校・5年男子

- ・ 地域で「伝統は残すもの」と思った
- ・ フィリピンで「伝統は生活の中にあるもの」と思った
- ・ 「伝統とは何か？」という問いを持った

↓

- ・ 地域・図書館・ネット・各科目の授業・いつでも・どこでも「伝統とは？」のアンテナが立っている
- ・ 各教科担任は、授業内容や宅習課題に反映できる

↓

- ・ 各科目で「問いを立てる」「問いを深める」訓練を

128

「問い」を誘発する仕掛け(例)

問 「化学基礎」で学習する以下の内容についてツッコミを入れなさい。

様々な物質の中には、ダイヤモンドのように『硬く、沸点や融点が高く、常温では固体のグループ』もあれば、ドライアイスのように『柔らかく、沸点や融点が低く、常温では液体や気体のグループ』もある。

(ツッコミ)

129

「問い」を誘発する仕掛け(例)

様々な物質の中には、ダイヤモンドのように『硬く、沸点や融点が高く、常温では固体のグループ』もあれば、ドライアイスのように『柔らかく、沸点や融点が低く、常温では液体や気体のグループ』もある。

(ツッコミの例)

- ・ 「硬い物質の沸点や融点は必ず高いのか？」
- ・ 「硬い(軟らかい)グループの共通点は何か？」
- ・ 「なぜ『硬さ』や『沸点・融点』が違うのか？」

130

今後、心がけて進めていただきたいこと

互いに**越境**しあい
共学共創のコミュニティを確立すること

(各自が立場を越えてつながる **越境**・共に学び **共学共創**)

“**掛け算による価値創造**”

131

埼玉県立総合教育センター
地域とともに歩む学校づくりセミナー

今なぜ「地域」「探究」が必要なのか

令和2年11月27日(金)
大正大学 地域創生学部
教授 浦崎 太郎

4 質の高い教育をみんなに
9 職業と教育を結び、未来を創造しよう
17 パートナシップで社会を元気にしよう

大正大学

132